NAKA

公益社団法人 名古屋中法人会・広報誌 [なか]

2016 夏 VOL.161

NAKA

公益社団法人　名古屋中法人会･広報誌[なか]VOL.161

2016年 **夏号** 目次

DIARY…… 1
第５回通常総会・表彰式…… 2
総会記念講演会 …… 6
　政治評論家　**加藤 清隆氏**
名古屋市内９法人会合同講演会 …… 10
　東京新聞・中日新聞 論説副主幹　**長谷川 幸洋氏**
お時間拝借 …… 12
　㈲不老園 七代目　**加藤 譲治氏**
　　八代目　**林　有美さん**
ものづくり名古屋…… 16
　㈱酒井製作所 代表取締役会長　**酒井 克俊氏**
健やかサークル …… 20
　抹茶
ものづくり愛知の至宝…… 20
　松坂屋コレクション　洲浜に海松貝模様打敷
季節の和菓子の魅力…… 21
　御菓子司 不老園
《会員増強運動へのご協力とお願い》 …… 22
《こだわり見学記》 …… 24
名古屋城本丸御殿　対面所・下御膳所公開
この人…… 26
　名古屋グランパス ゼネラルマネジャー兼監督　**小倉 隆史氏**
新春講演会 …… 30
　株式会社 コメ兵 会長　**石原 司郎氏**
《社長のやる気サポート》
　新入社員研修会…… 34
　新入会員オリエンテーション…… 35
　栄ミナミ音楽祭　パートナーズライブ in つたも…… 36
　みんなに笑顔を　クラウンがやってきた …… 37
　尾張伝統芸能ナイト2016 …… 37
　清酒教養セミナー …… 38
《みんなで成功させよう会員増強運動》
　第36年度青年部会総会…… 39
　第33回女性部会通常総会 …… 40
　平成28年度経営研究会通常総会…… 41
《会員サロン》
　住吉の語り部となりたい－⑨ …… 42
　　料亭つたも 主人　**深田 正雄氏**
　バラと女王と良識の国　イギリス紀行－② …… 44
　　会友 藤間工業㈱ 代表取締役会長　**藤間 敏雄氏**
《みんなで成功させよう会員増強運動》
　第10回理事会 …… 46
　名古屋市内９法人会青年部会合同研修会 …… 46
　青年部会会員拡大委員会 …… 46
《新入会員の紹介》 …… 47
《行事メモ》 …… 48

表紙の人
名古屋グランパス
ゼネラルマネジャー兼監督

小倉 隆史氏

【プロフィール】
元サッカー選手・
現役時代ポジション フォワード
サッカー指導者
昭和48年(1973)７月６日三重県生まれ
四日市中央工業高校
平成３年(1991)
　全国高等学校サッカー大会優勝
平成４年(1992)
　Ｊリーグ誕生前年
　名古屋グランパスエイト入団
平成５年(1993)
　オランダ２部リーグ
　エクセルシオール移籍
平成８年(1996)
　アトランタ五輪日本代表
平成18年(2006)
　現役引退　解説者・タレント活動
平成28年（2016)
　Ｊリーグ名古屋グランパス
　ゼネラルマネジャー兼監督就任

DIARY 2016

jun. 6

3金 厚生委員会・支援会メンバー
「３年10億円増収計画」推進会議
木曽路錦店　16：00
9木 女性部会・新緑税務研修会
テーマ：「消費税　はじめての
軽減税率！」
「伊勢ものがたり」
講　師：名古屋中税務署
法人課税第一部門
統括国税調査官
広 勝巳氏
梅の花　11：00
15水、16木、17金
税務研修会「平成28年度税制
改正の実務ポイント」
昭和ビル大ホール　13：30
講師：税理士法人　名南経営
理事長　吉田 勤氏
19日 「父の日」
21火 東部三支部合同事業
「中電・浜岡原子力発電所」見学
22水 「中青会・親睦ゴルフ」
富士カントリー可児
参議院議員選挙・公示
23木 一般社団法人　愛知県法人会連合会
第４回通常総会
名鉄ニューグランドホテル　15：30
青年部会・第３回正副部会長会議
事務局会議室　18：30
24金 東海青連協・定時総会
ホテルキャッスルプラザ　14：00
27月 「メンタルリスク対策セミナー」
～ストレスチェックの義務化～
講師：特定社会保険労務士
大野 ゆかり氏
昭和ビル大ホール　15：00
「暮らしの中の税金展」実行委員会
名古屋中税務署会議室　14：00
28火、29水
「消費税軽減税率制度が導入されます」
～消費税軽減税率制度について～
～軽減税率導入に係る事業者支援について～
昭和ビル大ホール　9：30～14：00
30木 県連・専務理事会議
大同生命ビル　14：30

jul. 7

1金 「第28回全国中の会・横浜大会」
6水 青年部会・第３回役員会
東京第一ホテル錦　18：30
7木 **七夕**
10日 **参議院議員選挙・投票日**
大相撲名古屋場所
11月 **財務省人事異動発令日**
13水 第13回・広報委員会
事務局会議室　10：30
14木 女性部会・第２回理事会
事務局会議室　10：30
「景気討論会」
主催：日本経済新聞社
ウェスティンナゴヤキャッスル
14：00
15金 **新任税務署幹部・挨拶**
名古屋中税務署　13：30
18月 **海の日**
19火 県連・事業委員会
大同生命ビル　15：00
21木 決算期別研修会（７～９月期）
昭和ビル大ホール　13：30
22金 県連・厚生委員会
大同生命ビル　14：00
26火 県連・広報委員会
大同生命ビル　15：00
29金 県連・税制委員会
大同生命ビル　15：00

aug. 8

1月 県連・総務委員会
大同生命ビル　15：30
2火 「れんらくぶくろ」事業委員会
「税務なか」広報誌編集委員会
名古屋中税務署　10：00
3水 本部・第５回理事懇談会
東京第一ホテル錦　16：00
5金 県連・理事会、理事委員合同懇談会
名古屋観光ホテル　16：00
リオデジャネイロ夏季五輪開幕
6土 **広島原爆の日**
7日 **第98回高校野球全国選手権大会**
甲子園球場
9火 栄東支部事業・地域探訪
小さな世界遺産
「五箇山」合掌集落
長崎原爆の日
県連・組織委員会
大同生命ビル　15：00
11木 **山の日**
15月 **全国戦没者追悼式**
20土、21日
第65回・広小路夏まつり
朝日神社・広小路通り界隈
25木 青年部会・第４回正副部会長会議
事務局会議室　18：30
26金～28日
第９回・にっぽんど真ん中祭
31水 県連・専務理事会議
大同生命ビル　14：00

sep. 9

1木～3土
越中八尾おわら風の盆
1木 **二百十日・防災の日・関東大震災**
2金 第５回・組織委員＆支部長合同会議
6火 青年部会・第４回役員会
東京第一ホテル錦　18：30
7水、14水、23金、27火、10月5水、11火　延べ6日
「第22回・やさしい法人税セミナー」
昭和ビル大ホール　13：30
県連・女連協常任理事会
大同生命ビル会議室　12：00
8木 女性部会・第３回理事会
事務局会議室　10：30
第30回全国青年の集い・北海道大会
13火 市内９法人会合同講演会
日本特殊陶業市民会館　13：30
『地方自治と市民社会の行方』
慶應義塾大学教授　片山 善博氏
14水 経営研究会・第１回研修事業
「中法人会ー夜限りのナイト〝フィーバー〟」
ライブハウス名古屋ケントス　17：40
19月 **敬老の日**
22木 **秋分の日**
女性部会・社会貢献事業
《第3回・なごやヤングジャズフェスティバル！》
演奏：フリーヒルズジャズオーケストラ
中電ホール　13：30

oct. 10

6木 青連協・情報交換会
ホテルキャッスルプラザ　14：00
9日 **Ｆ１・第16戦日本グランプリ決勝**
鈴鹿サーキット
10月 **体育の日**
「第８回・名古屋ニコニコランド2016」
～ココロもカラダも元気な名古屋～
久屋大通公園　10：00
12水又は13木
『初心者のための源泉所得税研修会』
中区役所地下ホール　13：30
13木 青年部会・第５回正副役員会
事務局会議室　18：30
15土、16日
大須大道町人祭り
名古屋祭り・英傑行列
17月又は18火
調査部所管法人部会・税務研修会
中日パレス　14：30
19水 平和支部事業・地域探訪
杉原千畝記念館とチコリ村の見学
20木 第33回・法人会全国大会長崎大会
《きてみんね・長崎へ》
長崎ブリックホール　14：00
25火 青年部会・第５回役員会
東京第一ホテル錦　18：30
第14回広報委員会～春号企画～
事務局会議室　10：30
28金 御園支部事業
渡岸寺の十一面観音参拝と
長浜黒壁スクエアの散策
経営研究会・第２回研修事業
「中法人会エンタの祭典2016」
大須演芸場　18：00
31月 県連・専務理事会議
大同生命ビル　14：00

nov. 11

2水 青年部会・税務委員会事業
「署長講演会」～パネルディスカッション～
3木 **文化の日**
5土 第19回・中法人会ミニサッカー大会
愛知県体育館メインアリーナ
7月 **立冬**
「暮らしの中の税金展」作品展示
中日ビル２階ギャラリー
8火 第11回総務委員会～講師選定～
事務局会議室　10：30
10木 女性部会・第４回理事会
研修委員会事業「署長講演会」
12土 「暮らしの中の税金展」表彰式
中日パレス
15火 「平成28年度納税表彰式」
KKRホテル名古屋　10：30

太字は一般参加の事業　DIARYは一部変更になる場合があります。名古屋中法人会ホームページ「イベントカレンダー」をお確かめのうえお出掛けください。
http://www.meinaka-houjinkai.or.jp

名古屋東急ホテル３F　ヴェルサイユの間

第５回通常総会

日時／平成28年５月23日(月) 14時30分～　会場／名古屋東急ホテル３F　ヴェルサイユの間

魅力ある法人会活動の推進

平成28年度の日本経済は、１月以降、円高や株安の進行、マイナス金利導入など経済環境が激変しており、長引く個人消費の停滞や、熊本地震による一部工場の生産停止等もあり、景況感が悪化しています。

その中において、東海地域経済は、３月に自動車関連での稼働停止の影響から輸出や生産が一時的に減少したものの、生産水準が他の国内地域よりも高く、設備投資も合理化・効率化投資が増加し、基調としては緩やかに拡大しております。

本年は、実質賃金の増加、補正予算の編成、原油安、在庫調整の進展等の要因が景気を下支えし、緩やかな回復が期待されます。

名古屋中法人会は、早いもので公益社団法人へ移行し４年が過ぎようとしております。平成27年度の税制・税務研修事業、社会貢献事業など、計画したすべての事業を順調に実施し、多くの企業、市民の方に参加して頂きました。

議長　岡谷 篤一氏

開会の言葉
総務担当副会長　荒川 愼太郎氏

議案説明
専務理事　清水 正彌氏

監査報告
監事　奥村 和敏氏

来賓祝辞
名古屋中税務署長　辰巳 安治氏

閉会の言葉
事業担当副会長　髙橋 公比古氏

総合司会
総務委員　堀江 陽平氏

地道な会員増強活動の実施

さて、法人会の最重要課題の会員増強につきましては会員皆様が一人一社を、また支部役員と推進員とのセット勧誘を柱に加入勧奨を実施しましたが、会員数の減少は歯止めがかからず、平成28年３月31日現在の加入会員数2,932社と昨年に続き3,000社を割り、加入率32.1％となりました。厳しい現状の中、今後も魅力ある法人会活動を推進し、地道な会員増強活動を実施してまいりたいと考えておりますので是非、会員の皆様のご支援・ご協力をお願いします。

迎えました平成28年度におきましても、公益法人としての使命を達成する為、本部・支部・部会・関係機関との連携を密にし、地域企業の健全な発展並びに地域社会への貢献を目的とした活動を推進して参ります。

会長あいさつ　岡谷 篤一

情報交換会

総会記念講演講師　加藤 清隆氏

開会あいさつ
広報担当副会長
武藤 俊明氏

乾杯の発声
名古屋中税務署副署長
鈴木 高之氏

司会
女性部会部会長
加藤 あつこさん

平成27年度

会長表彰

加入勧奨功労者感謝状（個人）

代表
長谷川 麻衣子さん

	法　人　名	受賞者名
加入勧奨功労	㈱保険相談センター	村　上　　実
	大同生命保険㈱名古屋支社	長谷川麻衣子
	大同生命保険㈱名古屋支社	中　村　美　鈴
	AIU損害保険会社	小　高　太　輔
		（以上４名）

（敬称略・順不同）

支部・部会活動功労者感謝状

代表
加藤 正子さん

	法　人　名	受賞者名
青年部会	㈱エントリー	大塚　真次郎
	アン・クリエーション㈱	鈴　村　隆　行
		（以上２名）
女性部会	㈱駒平キウブ商事	加　藤　正　子
		（以上１名）
経営研究会	㈱岡本建築事務所	岡　本　佳　久
		（以上１名）

（敬称略・順不同）

みんなで成功させよう！

第5回通常総会において、当法人会の運営・活動に貢献のあった皆様へ、岡谷篤一会長より感謝状及び表彰状が贈呈された。

事業協力法人表彰状

代表
加藤 幸一氏　㈱加藤與吉商店

支部	法　人　名
名城（1社）	㈱カーク
錦三（7社）	㈱石原ビルディング ㈱廣潤社 相互ビルディング㈱ 名古屋ビジネスサービス㈱ 平野興産㈱ 愛織工業㈱ ミヤキ㈱
御園（3社）	㈱フクモト 愛銀コンピュータサービス㈱ ㈱伊東管財
栄西（2社）	岡谷鋼機㈱ ㈱メディアロード
新栄（1社）	T&T都市開発㈲
老松（2社）	北嶋工業㈱ 東海廣告㈱
大須（1社）	愛知文紙事務器卸㈱
橘（3社）	㈲木村メンテナンス ㈱名港 名港木材㈱
平和（4社）	㈱ナデック ㈱愛知コンサルタント ㈱加藤與吉商店 矢島技研㈱
正木（3社）	愛知県労働者住宅生活㈱ ㈱高木製作所 ㈱高木運輸
松原（1社）	㈱六浦本店

（敬称略・順不同）

会員増強運動

けんたくん

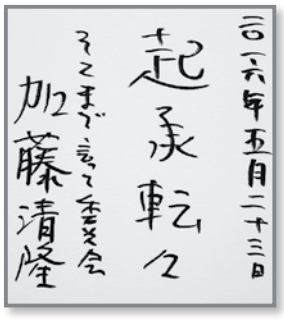
参院選と安倍政権の今後

講師／政治評論家　加藤 清隆氏

第５回通常総会　記念講演会

難しくなった衆参同日選挙

安倍総理は前回の総理のとき難病に罹り１年で辞任されたので、二度目の総理大臣は考えておられませんでした。ところが、たかじんさんや三宅久之さん、金美麗さんから「もう一度総理としてチャレンジすべきだ」と尻を叩かれてチャレンジしました。事前の予想は３位でしたが決戦投票にもちこみ逆転し総裁に選ばれ、そして民主党の野田政権から自民党は政権を奪還、第二次安倍政権になり経済政策としてアベノミクスを打ち出しました。



アベノミクスは失敗と言われますが、民主党が与党のとき日経平均株価は約８千円、為替は１ドル75円前後でした。それが自民党に返り咲き、いま株価は約１万６千円、１ドル110円時代になり、円安で輸出産業が息を吹き返したのは事実です。

安倍総理は任期中（2018年９月30日まで）に憲法改正をやりたいと願っています。それは党是でもあるからです。

戦後、衆参同日選挙は２回行われました。

昭和55年（1980）大平内閣のときと昭和61年（1986）中曽根内閣のときです。２回とも大きなハプニングがあり自民党が圧勝しました。

１回目は大平総理が選挙戦の最中に亡くなり、自民党員が喪章をつけて戦い圧勝しました。２回目は「死んだふり解散」と言われたように国民には「ない」といいつつ突然解散しました。そのときの官房長官は後藤田正晴氏でした。私は後藤田長官の側近中の側近と言われていましたので最後の会合のときにも念押ししましたが、「衆議院解散はない！ウルトラCはない！」と後藤田長官が言い切ったのです。「ある」と判断をしていたのにニュートラルの記事に書き換えて、週刊誌の記者にバカにされてしまいました。

後藤田長官が政治家を辞任された後、本の出版記念会が開かれました。そのときに私は言いました。「皆さん政治家を信用してはなりません！　あのとき後藤田先生は私にウルトラCはないと言い切られたのです」。ご本人は、私に最敬礼をして「加藤くん、すまん。ウルトラDがあったんだよ」。お笑いでおしまいでしたが、それによって自民党は圧勝しました。

今回衆参同日選挙はあるのか。通常国会の会期は150日間ですから、最終日は６月１日です。この日に衆議院を解散、７月10日に衆参同日選挙になるとずっと言われ続けてきました。しかし、それではハプニングがなく、同日選挙をしても与党圧勝の保証はありません。

もうひとつの案です。今回改選される参議院議員の任期は７月25日までですから通常国会の会期をこの日まで延ばすことができます。会期延長して直前に衆議院を解散すれば８月上旬に同日選挙ということも可能です。しかし野党は６月１日の最終日に内閣不信任決議案を出すと言い始めています。出てくれば最優先で本会議に諮らなければならない。そうすると与党は３分の２をもっていますから否決されておしまい。衆議院解散の道は閉ざされ、７月10日は参議院選挙になると思います。

では衆議院解散総選挙は？

自民党は衆参同日選挙の予測調査を行いましたら、衆議院議員は現状より20議席減ると出てしまいました。衆議院と参議院の両院で３分の２を確保して憲法改正に踏み込みたいのですから同日選挙をやる意味はありません。

そして参議院の予測値は、自民党が57、公明党11、民進党28、共産党11、大阪維新７、社民党２でした。改選されない人たちは65人ですから合わせて122議席。参議院議員は242人ですから27年振りに自民党が単独で過半数を越える可能性があると予測結果が出ているのです。憲法改正に賛成する議員は公明党、民進党などにもいるでしょうから３分の２の162議席に到達する可能性があります。参議院で憲法改正に賛成する人たちが３分の２に到達すれば衆議院をさわる必要はないのです。結論として今回単独でやろうとなったようです。

昨日、和歌山県御坊市で市長選挙が行われました。二階総務会長は和歌山県で大変な力をもっているのに、二階氏の息子さんが現職の75歳のおじいさんに負けました。選挙とはそういうものなのです。

今回の参議院の選挙の焦点は、32ある選挙区の１人区の勝負です。野党は32の選挙区すべてが統一候補になりそうな勢いで、自民党と公明党にとって大変脅威だと思います。

しかし衆議院解散総選挙はいずれ行われます。９月に臨時国会を召集して衆議院を解散すれば９月中または10月初旬に衆議院選挙というパターンです。

伊勢志摩Ｇ７サミットがあります。最大のテーマは世界経済です。Ｇ７が世界経済を牽引するために協調して積極財政出動しようとしています。

安倍総理は議長国として財政出動、大型補正予算を組みましょうと結論を出すのですから、消費税増税は相反します。消費税増税は先延ばしか凍結することになると私は予想します。

伊勢志摩サミットは成功し、サミット後にオバマ大統領は

広島を訪れ、安倍総理も同行、全犠牲者のためにお花を捧げ、頭を垂れることが決まっています。自民党にとってベストの環境のときです。９月に臨時国会を召集して補正予算が成立した後解散し、衆議院選挙に突入するかもしれません。この機会を逃すと翌年2017年にやるか？2017年は東京都議選があります。公明党は衆院選と都議選とのダブルは止めてくれと言っていますから、2018年に入ってからの衆議院解散総選挙しかありません。

伊勢志摩サミットの成功、オバマ大統領の広島訪問、消費増税ストップで得点を稼げば、与党としてベストの状態の今年に衆院選はあると思います。

まだ早い消費税増税

民主党政権野田総理のときに消費税を２段階に分けて10%まで引き上げることが法案として可決されました。一昨年12月の衆議院選挙で自民・公明党が圧勝したことによって、消費税増税を１年半延期しました。その１年半後は来年2017年４月１日です。

私は安倍総理と酒を飲みながら話をする機会が何度かありました。

2014年４月１日に消費税が５%から８%に増税されましたが、その１カ月前に総理にお招きいただき議論しました。私は「まだ消費税を増税するタイミングではない。東日本大震災の復興はまだ半ば、メドがついてないなかで消費税率をアップすれば、GDP60%に達する個人消費を直撃します」と進言しました。総理は「財務省は、増税直後はマイナスになっても、必ずプラスに転じると言っている」と答えましたが、結論としてGDPはマイナス、デフレから脱するどころか景気後退と認定されました。第二次安倍政権のアベノミクスで日経平均株価も上がり、為替も円安になり、輸出に頼っている日本にとって大きく経済を刺激したことはご承知と思います。就職率も良くなりました。しかしまだ個人消費の伸びが悪いです。日本を回っているとアベノミクスの恩恵は受けていないと皆様言われます。

友人の元外務省の高橋洋一氏によれば、財務省で消費増税を立案した人ですが、消費税５%のままのほうが20兆円の税収増になり、増税していなかったら昨年にはデフレ脱出宣言できたはずだと言います。私もそう思います。

消費税増税を延期すると国債の価格が暴落すると財務省は言いますが、では一度10%への増税を延ばしたときに国債の信任が落ちたでしょうか。

一昨年、国債の発行残高１千兆円超えました。国民一人あたり800万円の借金だと財務省は言いますがウソです。

借金は１千兆円ありますが、日本は優良な資産を海外に370兆円以上抱えています。連結決算でみれば900兆円ほどの資産があり、財務省の言っている借金は100兆円ほどなのです。

私が納得いかないのは、１千兆円の借金のことです。10年ものの国債を買ったとします。10年後に元利合計が戻ってきます。買っている大部分は日本の機関投資家である金融機関と保険会社です。その金融機関の預金や保険会社の保険料は我々日本人のお金です。国債は債務（借金）ではなく債権だと思うのです。疑問に思うのは、経済部の優秀な記者がなぜそれを書かないのか。安倍総理はそこのところはよく勉強されていますから、サミット終了後に安倍総理は、消費税増税について話されると思います。

中国の思惑

次は皆様の関心の高い隣国の中国についてお話しします。数年前まで高度成長し意気揚々としていましたが、２年ほど前に土地バブルは弾け、鉄鋼、セメントなど資材も買い手がなくて山積みされています。

中国が提唱、主導しているAIIB（アジア投資インフラ銀行／本店：北京）は中国が40%出資、57カ国が参加しています。中国はAIIBでドルを集めて中国で余っている製品、資源、労働力をどこかに輸出しようと考えたのです。参加したヨーロッパの各国は、GDPに比例してドルを出資することになっていましたが、参加料を払っただけで出資しませんでした。アメリカも日本もカナダも参加していません。ドルがないので債権を発行しようとしてもお金は集まりません。日本政府は参加しなくて良かったです。

経済に行き詰まった習金平政権は国民の目を逸らすために、外に攻撃する相手を見つけ、「アイツが悪い。日本のために我々は苦しんでいる」と言い、日本との戦争準備指令を何度となく出しています。

中国の軍備費はこの26年で40倍に増えました。特に沖縄や尖閣諸島が危ないです。東シナ海でも日中間で衝突する可能性が高まっていることを覚えていてください。

トランプ氏が大統領になったら……

11月８日にアメリカの大統領本選挙がありますが、まさかドナルド・トランプ氏のように乱暴な言い方の人が共和党の公認大統領候補になると予測した人はいないはずです。アメリカ国民のたまっている不満、鬱積が噴出しています。中央（ワシントン）、既成政治家、既成政党に対する反感が強くなってきたからです。

例えば移民反対です。昔アメリカ人はWASP（ホワイト、アングロサクソン、プロテスタント）の国と言われましたが、彼らがトランプ氏を熱狂的に支持しているのです。自分たちの仕事を移民にとられてしまっていると考えているのです。

メキシコからアメリカに何十万人と密入国し、アメリカで産まれた子どもにはアメリカ国籍がもらえるのでメキシコから移民がどんどん来ます。彼らはヒスパニックで、10年後、20年後の人種別トップはヒスパニックになるだろうと言われています。彼らへの恐怖心、反感が怨嗟になっています。

暴走する中国

日本や韓国など、駐留費用を負担しないなら米軍をすべて引き上げるとトランプ氏は言っています。日本から核ミサイルをもった在日米軍が撤退したら、日本周辺は真空状態になり、強い力が入り込もうとします。

1981年、鄧小平氏の副官が『中国の太平洋戦略』という論文の中で、2010年までに第一列島線より大陸側は中国の内海として他国の船は入れないようにすると宣言し、ほとんど実現しています。

そして房総半島から真南の小笠原諸島、グァム、パプアニューギニアまで届く防衛ライン（太平洋の真ん中に線を引くイメージ）を第二列島線と名付け、2020年までに太平洋の西側は中国の海とするとしました。第二列島線に日本列島はすっぽり入っています。日本の船が自由に航行できなくなるのです。そのために中国は着々と軍備増強し、26年間で軍事力40倍になりました。

習金平氏は国家主席になってすぐにアメリカに行きました。招待されたわけではないのでワシントンではなくカリフォルニアに立ち寄ったら、オバマ大統領はワシントンDCからエアフォースワンに乗って飛んで来て、３日間対談しました。そのとき習金平国家主席はオバマ大統領に提案しました。「太平洋を２分割して、東側半分はアメリカにお任せします。西側は我々が面倒をみます。今後は口出しをやめてください」。

中国の『環球時報』という外交専門紙には「琉球は本来我々の土地である。我々は琉球を奪還する」と繰り返し書いています。それは第一次列島線、第二次列島線の遠大な計画のために、沖縄をどうしても自分たちのものにしたいという計画のもとに手を打っているのです。

明日なき民進党

民進党は共産党と組もうとしていますが、ひさしを貸して母屋を取られると思います。民進党は地方に組織はなく個人後援会だけです。共産党は組織力がすごいですからアッと言う間に飲まれます。かつての社会党が社民党になり今度の参議院選挙で１議席とれるかどうかの状態ですが、民進党も今みたいなことをやっていたら政権復帰どころか社民党のようになります。日本の国益、日本国民の生命・財産の大切さを考えない限り民進党の将来はありません。

きつい言い方もしましたが、意のあるところを汲んでいただければ幸いと思います。ご清聴ありがとうございました。

※この記事は平成28年５月23日㈪の講演を要約したものです。

文責／公益社団法人　名古屋中法人会

名古屋市内9法人会合同講演会レポート

これからの日本経済を展望する

～安倍政権の重要課題とその背景～

講師／東京新聞・中日新聞　論説副主幹　**長谷川 幸洋氏**

日時／平成28年2月9日㈫　13時30分～15時00分　会場／日本特殊陶業市民会館　フォレストホール

予告

「地方自治と市民社会の行方」

慶應義塾大学 教授　片山 善博氏

平成28年９月13日㈫　13：30～15：00

日本特殊陶業市民会館

「演題 未定」

政治評論家　加藤 清隆氏

平成29年２月14日㈫　13：30～15：00

日本特殊陶業市民会館

中国の動向を注視

長谷川幸洋氏は、2006年から2009年まで、第一次安倍政権の政府税制調査会委員として首相の人となり、政治手腕を見守ってきた。

日本経済の展望と政治の課題は、「激変する世界の状況を見極めることにある」。言い換えれば日本は単独では生きていけないということだ。日本は東アジア全体のなかでどうすればいいのか政策の舵取が難しい。

なかでも急速に中国から離反し始めた周辺国の動きに注視しなければならない。

①北朝鮮（金正恩）
核実験と弾道ミサイル発射を中国に事前通告しなかった

②台湾（蔡英文）
中国に近づき過ぎないように現状維持を表明した

③韓国（朴槿恵）
日米に近づくために慰安婦問題の合意を呼びかけた

④香港（若者たち）
急激に対中感情が悪化している

背景は減速する中国経済と北京政府に対する不信にある。「あと３年で中国は崩壊する」と見立てる講師の言葉に驚かされる。

その姿がソ連の崩壊と酷似していると指摘し、ソ連崩壊の1991年を振り返った。前年のバルト３国独立宣言が引き金となったが、モスクワ市民は信用を失ったロシアのルーブルを売ってドルに替え、ベッドの下に隠した。市民は、ルーブルは受け取らなくなりドルは使わず、国内から通貨が消えていった。最後は物々交換、あるいは国際ブランドたばこ「マールボロ」が通貨の代わりとなった。

中国も今、共産党の幹部が身内やお金を外国に逃がしている。

政府一体の銀行は、人民元相場が暴落しないように必死に人民元を買い支えているが、外貨準備高が急減している。自国の通貨が信用を失うことは、その国の崩壊につながる。

減速する中国経済と原油安。中国との経済の結び付きが大きい日本も景気は急速に後退している。

こうしたなか、日銀の黒田総裁はデフレ脱却（消費者物価上昇率２%）を2017年９月までできないと発言した。安倍首相は１-３月期の四半期別のGDPの数字を見て５月に消費税増税するかを決断、７月の参院選挙のときに、消費税増税を先延ばししたことの国民の審判を受けたいとダブル選挙に打って出ると予想した。

デフレ脱却できなければ安倍政権は頓挫し、景気後退に拍車がかかってしまう。今後の日本経済の行方を示すTPPの動きも注視しなければならない。

憲法改正したい安倍首相であるが、多くの国民の賛同を得られないのでやらない。なぜなら、政治も企業もトップの仕事は常に現実的に考え『やりたいこと』をするのではなく『今、やれること』をすることであるからと語った。

※この記事は平成28年２月９日㈫の講演をレポートしたものです。

文責：公益社団法人　名古屋中法人会

伝統に若い息吹を吹き込み前に進む

合資会社　不老園
七代目　加藤 譲治氏
八代目　林 有美さん

取材日時／平成28年５月10日㈫
取材場所／不老園
き き て／森田文二・古市晴比彦・
加藤育美・清水正彌

創業は嘉永元年（1848）

――江戸時代からの老舗ですね。ご創業からの歩みをお聞かせください。

林：　初代のことは詳しくはわかりませんが、大津町で『藤屋太助』という屋号で道具屋と味淋屋をやっていたそうです。三代目の加藤太助が桔梗屋さんから職人を引き入れて味淋屋の片隅で菓子屋を始めたのが嘉永元年（1848）、屋号を『不老園』としましたので、その年を不老園創業としています。

大津町の菓子屋は大層繁盛したのですが、火事で焼けてしまい下茶屋町（現古渡町）に店を移したのが四代目のときです。五代目のとき３つの店舗に分かれ、当店は『不老園正光』、覚王山店は『不老園正敬』、門前町店が『不老園正安』としました。

加藤：　兄弟の兄のほうが出て、私の祖父がここに残りました。どちらが本家とか本店とかではありません。

林：　『正光』については歴史について詳しかった祖母が一昨年亡くなってしまってわかりません。覚王山店と当店が今も営業を続けています。父は七代目になり、私がその後を継ぐことになります。

――屋号の由来についてお聞かせください。

林：　蓬莱山にある不老不死の長生殿にあった

不老門が由来と聞いています。

――七代目にお聞きしますが、継がれた頃と今と違ってきていますか。

加藤：　あの頃はベビーブームで子どもが多くて、お宮参りとか節目にいろいろな行事をされたので繁盛しましたが、最近はされる方が少なくなりましたね。

林：　行事をされても買われる個数が減って、昔に比べると箱が小さくなり、いまは１個入りから用意しています。

加藤：　核家族化していますし時代の変わりは早いです。

――八代目の林さんが一番大切にされていることは何ですか。

林：　一つひとつ丁寧に、心を込めてお作りすることです。最近、東別院で毎月28日に開かれている〝てづくり朝市　マルシェ〟に出店していまして、お客様と体面して販売する機会が増えました。そこでのお客様が当店にもよく来てくださるようになり、私と同世代の若いママさんが圧倒的に増えました。そんな若い世代のお客様のニーズにお応えするために、添加物はできるだけ使わないで、お子様に安心して召し上がっていただける、体に優しいお菓子を作るように心掛けています。

幻の銘菓『不老饅頭』

――材料の変化はありますか。

加藤：　知多でいい小豆が採れたらしいですが、今はもうそれは手に入らなくなりました。

林：　私は話を聞いただけで知多の小豆は知らないのですが、当店の名物〝不老饅頭〟はその知多の小豆で作ってヒットしたらしく、昔の大きな『不老饅頭』の看板があります。祖母は生前それをもう１回作ったらと言っていましたが、薬饅頭といって重曹を入れるものなので、ちょっと時代に合わない気がしますし、いい小豆がなくて実現できていません。

――いつから林さんはこちらに入られたのですか。

林：　いま32歳で24歳からです。私は３姉妹の長女で結婚していましたが、まだ子どもがいませんでしたので、この道を選びました。

――お店は改装されて伝統を重んじつつも、若々しい雰囲気がします。

林：　新しいことをするのを最初は父が嫌がりましたが、このまま衰退するよりは新しいことをやろうとリニューアルしてカフェのスペースも作りました。

加藤：　和風プリンがよく売れています。思いもよらないことで、いまでは当店の主力商品になっています。

林：　和風プリンは吉野の葛で固めています。和テイストで少し変わった食感になっています。

――お父様からは、どのような教えがありましたか。

林：　代々の職人さんたちの勘や経験は素晴らしく尊敬しています。

私としては父に手取り足取り教えて欲しいのですが、父は人に教えるのがあまり得手ではないようです。

季節や天候、湿度が関係して、日々微調整するのですが、その感覚は数字で示せるものではありませ